

第 90回 ISO産業データ国際委員会国際会議  
公開会議「インダストリーデイ」のご案内

ISO/TC 184/SC 4 国内対策委員会  
委員長 相馬淳人

近年ものづくりの領域では、組織や国境を越えた製品ライフサイクルデータの相互運用性実現や、カーボンニュートラルや循環経済といった国際アジェンダへの対応に加え、コロナやウクライナ紛争など、予測の難しい社会情勢の目まぐるしい変化への対応が大きな課題です。その解決にはデジタル空間における徹底したデータの知的利活用が必要ですが、その実現には多くのステークホルダーによる国際コンセンサスが必須であることから、国際標準の重要性が急速に高まりつつあります。

今回、この分野における国際標準化を担うISO最大の委員会、ISO/TC 184/SC 4（ISO産業データ委員会、以下 SC 4）の第90回国際会議を長崎市で1週間にわたり開催されます。その中日(10月29日)に開催される、「公開カンファレンス”インダストリーデイ (Industry Day)”」へのご案内です。

インダストリーデイは、開催国産業界と国際標準専門家による発表と意見交換を通じて、国際標準を基盤としたものづくりの最新情報をお届けするとともに、国内の産業界が「ルールに従う側」から「ルールを作る側」へ意識の変革を促し、事業競争力を活性化することを狙っています。

SC 4は、三次元 CAD の国際標準である STEP (ISO 10303)、JT (ISO 14306)、QIF (ISO 23952)、またプラントなど大規模社会資本設備のライフサイクルデータの意味的相互運用性実現に欠かせないオントロジー辞書や共通データモデルを定めるISO 15926シリーズやISO 23726シリーズ、さらにはISO 9000シリーズのデータ版として知られる分野横断のデータ品質標準ISO 8000 シリーズ等、製造業の DX 推進を下支えする様々な重要標準群を開発しています。

さて今回のIndustry Dayは、"Agile and Resilient Industry powered by Standardized Digital Ecosystem"と銘うち、デジタルエコシステムを中心とした専門家による最先端の12件の講演とパネルディスカッションを予定しています。ネットワーキングの時間も設けておりますので、この貴重な機会をぜひご活用ください。

日時	令和 7 年 1 0 月 2 9 日 (水) 9時 ~18時 (受付開始: 8 時30分)
会場	出島メッセ長崎 1F - 101会議室 〒850-0058長崎県長崎市尾上町4-1 (JR長崎駅隣接) 会場紹介: <a href="https://dejima-messe.jp/">https://dejima-messe.jp/</a> アクセス: <a href="https://dejima-messe.jp/access">https://dejima-messe.jp/access</a>
申込	無料・要申込 (MSTC トピックスページに掲載 <a href="https://www.mstc.or.jp/topics/event/">https://www.mstc.or.jp/topics/event/</a> )
定員	100名 (申込受付先着順)
締切	令和 7 年 1 0 月 2 2 日 (水)
言語	英語 (およびライブ日本語自動翻訳字幕つき、日本語資料を準備)

<p>※プログラムは現在調整中につき、タイトル・講演者が変わる可能性があります。</p>	
<p><b>09:00 ~ 09:30 Opening (ご来賓あいさつ)</b></p>	
<p><b>09:30 ~ 11:30 Session 1 Foundation of Standards for Digital Ecosystem</b>  <b>デジタルエコシステムを支える国際標準の概要</b></p>	
<p>「(仮題) デジタルエコシステムを支える標準群」 Kenneth Swope氏, SC 4国際議長、米ボーイング社  「(仮題) STEP標準の最新状況(AP242ロードマップ)」 Jean Brangé氏, 仏AFNeT Servicesプレジデント  「(仮題) デジタルエコシステムとデータ品質」 Timothy King博士、英BAE Systems社  「(仮題) ウラノス・エコシステムについて」 浦川伸一氏、一般社団法人ウラノス・エコシステム推進センター代表理事</p>	
<p>11:30 ~ 12:30 休憩</p>	
<p><b>12:30 ~ 14:30 Session 2 Digital Ecosystem – Engineering and Manufacturing</b>  <b>デジタルエコシステム - エンジニアリングと製造の革新</b></p>	
<p>「(仮題) 航空産業における設計・製造・認証DX」 長倉 宏至氏、三菱重工業株式会社  「(仮題) 国際連携によるデジタルツインエンジンの最新状況」 Martin Hardwick氏、STEP Tools, Inc.  「(仮題) 自動車産業におけるデジタルエンジニアリング」 大谷史樹氏、トヨタ自動車株式会社  「(仮題) GAIA-Xとデジタルツイン」 Max Ungerer氏、独エンジニアリングコンサルタント)</p>	
<p><b>14:30 ~ 15:00</b> Coffee break and networking</p>	
<p><b>15:00 ~ 17:30 Session 3 Digital Ecosystem – Product Lifecycle Data Management</b>  <b>デジタルエコシステム - 製品データライフサイクルマネジメントの革新</b></p>	
<p>「(仮題) plantOS<sup>®</sup>が実現するアジャイルデータ連携プラットフォーム」 古市和也様、千代田化工建設株式会社  「(仮題) 原子カプロジェクトの構成管理高度化」 Leo van Ruijven博士、オランダCroonwolter&amp;dros B.V.  「(課題) プラント業界における、AIとデータマネジメント」 林 幹高氏、日揮グローバル株式会社  「(仮題) セマンティックウェブ技術によるスマートメンテナンス」 Melinda Hodkiewicz博士、西オーストラリア大学</p>	
<p><b>17:30 ~ 17:40 Closing おわりに</b></p>	
<p>「(調整中)」 相馬淳人氏、SC 4日本代表団長、株式会社エリジオン社長</p>	
問合先	〒105-0004 東京都港区新橋 3 - 4 - 1 0 新橋企画ビルディング 4 階 一般財団法人 製造科学技術センター(MSTC)北山、調 (industry_day@mstc.or.jp) TEL 03-3500-4891 FAX 03-3500-4895